



外国出張報告書

平成 26 年 11 月 11 日

1. 出張国名 ウズベキスタン
2. 出張月 平成 26 年 10 月
3. 出張目的 日本の暗渠排水技術（穿孔暗渠機）の現地試験：A

4. 成果の概要

乾燥地域における農地の塩類集積を低減するための技術検討において、高い地下水位を効果的に低下させて塩類集積を抑制する排水技術の確立に向け、農村工学研究所により開発された穿孔暗渠技術カットドレーン工法の試験圃場での施工試験を行った。なお、穿孔暗渠機カットドレーンは、ウズベキスタン側研究者との協議上、改良しているものである。初めて施工にあたり、機械の組み立て、取り付け準備、現地オペレーターへの指導等において開発者の知識と経験が必要となることから、同行して本出張により実施した。

カットドレーンの試験施工では、予定試験地の乾性土壌では適切な施工ができず、試行した湿性土壌で適用が可能であった。乾燥地域におけるカットドレーンの導入にあたっては、土壌の粒径よりも土壌水分の影響が大きく、施工に適した土壌水分を確保するため、施工時期の検討が必要であった。

リーチング試験は湿性土壌地帯で再検討することになった。